

安全で安心な水のために

企業局では、安全で安心な水を供給するため、消毒副生成物であるトリハロメタンを大幅に低減する高度浄水処理や、水の硬度を低減する硬度低減化施設を導入しています。

なお、高度浄水処理には、水道水のかび臭などの異常な臭味を除去する効果も確認されています。

残留塩素については、水道水を安全、衛生的に保つために必要ですが、濃度が高いとカルキ臭として水に違和感を与える原因となります。企業局では、市町村等と連携を図りながら、水道水における残留塩素の低減に努めています。



浄水場の水質検査結果（検査結果は法令等で定められた基準値にすべて適合しています）

項目	基準値	名護浄水場	石川浄水場	北谷浄水場	西原浄水場
一般細菌（個/ml）	100個/ml以下	0	0	0	0
大腸菌	検出されないこと	不検出	不検出	不検出	不検出
総トリハロメタン（mg/L）	0.1mg/L以下	0.018	0.012	0.009	0.018
塩化物イオン（mg/L）	200mg/L以下	24.7	24.8	28.3	22.7
カルシウム、マグネシウム等（硬度）（mg/L）	300mg/L以下	37	33	69	27
pH値	5.8以上8.6以下	7.4	7.4	7.2	7.4
臭気	異常でないこと	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
色度（度）	5度以下	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満
濁度（度）	2度以下	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満

※ 久志浄水場は、一次沈でん処理場であるため除いています。

※ 掲載している値は、本島内の各浄水場出口の令和3年度の平均値です。

水質検査結果については、毎年水質年報を発行しており、各市町村水道事業体や図書館などの公共機関に送付しています。また、詳しい情報は、企業局ホームページでもご覧になれます。

Topics

1. 有機フッ素化合物（PFOS、PFOA）に暫定目標値が設定されました。

有機フッ素化合物（PFOS、PFOA）は、これまで国内に水質基準値等が定められておりませんでした。令和2年4月に水質管理目標設定項目に設定され、暫定目標値が50ng/L以下（PFOS及びPFOAの合計値）と設定されました。

企業局では暫定目標値に基づく水質管理を行い、引き続き安全で安心な水を供給してまいります。

2. おいしい水とは？

「おいしい水」の条件には、個人差がありますが次のような水質的な条件があります。

- 蒸発残留物 主にミネラルの含有量を示し、量が多いと苦み、渋みなどが増し、適度に含まれると、こくのあるまろやかな味がします。
- 硬度 ミネラルのなかで量的に多いカルシウム、マグネシウムの含有量を示し、硬度の低い水はくせがなく、高いと好き嫌いがでます。カルシウムに比べてマグネシウムの多い水は苦みを増します。
- 残留塩素 濃度が高いと、カルキ臭として水に違和感を与えます。
- 水温 飲むときの水温が適度に冷たいと、おいしく感じます。



工業用水の水質基準

企業局では、久志浄水場で沈でん処理し、下表の工業用水の水質基準を満たした水を各工場などへも送水しています。（沖縄工業用水道供給規程より）

水温	濁度	pH	アルカリ度	硬度	蒸発残留物	塩素イオン	鉄
常温	20度以下	6.5～8.0	75mg/L以下	120mg/L以下	250mg/L以下	80mg/L以下	3.0mg/L以下